

第4回次期定山溪観光魅力アップ構想検討会議 議事録（案）

■開催概要

日 時：令和6年11月1日（金）11:00～13:25

場 所：定山溪万世閣ホテルミリオーネ

参加者：高野座長、古川(雅)委員、古川(善)委員、陰元委員、金川委員、布村委員、
中西委員、山上氏(岩佐委員代理)

欠席者：濱野委員

ゲストスピーカー：池ノ上教授

オブザーバー参加者（オンライン参加含む）：

環境省 桜庭所長代理、国土交通省 大西課長補佐、北海道 遠藤課長、定山溪出張所
太田所長、定山溪観光協会 長谷川事務局長、北海道大学 磯谷氏
札幌市 都市計画部 長谷川部長、勝見調整担当課長、伊藤景観まちづくり担当係長、椿原氏
事務局：札幌市観光・MICE 推進部 北川、西田、藤田、岩渕
株式会社ドーコン 朝倉、折谷、原田

1. ゲストスピーカー講演

- ・「定山溪エリアにおける持続可能な推進体制構築に向けて」

2. 議事

（1）次期構想のコンセプト、成果指標、進行管理等

（2）持続可能な推進体制の構築

- ・評価指標については、「滞在時間」も重要になってくるのかもしれない。
- ・現在の日帰り客用のスポーツ公園の駐車場の利用状況を踏まえて、駐車場の充実についても言及してほしい。
- ・定山溪小学校の跡地利用に関して、住民が欲しがっているものはドラッグストアであり、観光客の利便性にもつながるため、そのような店舗の誘致なども組み込んでほしい。
(事務局)
- ・駐車場の充実については、基本方針4「交通アクセスの改善」の③「交通面の受入環境の整備」のなかで、「定山溪温泉街における駐車場台数の拡充」として掲げている。
- ・スポーツ公園の駐車場については、民間事業者と意見交換しており、舗装化や有料化について検討中である。
- ・「2次3次交通の結節拠点の検討」では、当該敷地に隣接するテニスコートの活用等も含めて検討していきたいと考えている。
- ・定山溪小学校の跡地活用については、次年度に跡活用委員会の中で検討していく予定である。次期定山溪観光魅力アップ構想の中にどの程度書き込むかについては、市の地域計画課等と協議しながら検討していきたい。
- ・温泉地として和の文化を売っていこうとしているにもかかわらず、次期構想のコンセプトにロ

一マ字を使うのには違和感がある。

- ・「世界の旅行者に」とすると、地元客が抜け落ちてしまうため、「世界の旅行者にも」という表現の方が良いのではないか。
- ・「選ばれる」も選ばれるだけであれば、認知→検討→宿泊までしか含まれていないため、その先の滞在や再来訪も重要になる。
- ・この先 10 年の旗としてつくるのであれば、振り返りや方向の微調整をこまめに行う必要がある。
- ・コンセプト案、成果指標、進行管理、推進体制について、どこまで決めきるべきなのか教えてほしい。

(事務局)

- ・コンセプト(案)については、あくまでもたたき台であるため、引き続き議論をさせていただきたい。
- ・温泉は世界文化遺産になると考えられるため、アルファベットで表記しているが、皆様から頂いた意見を踏まえて柔軟に検討していきたい。
- ・今後の検証の方法については、札幌市と観光協会が毎年検証をしていくような形をとりたいと考えている。振り返りを通して取組が足りない部分を確認するとともに、時代や地域の状況変化に応じて手を打っていくという形にしたい。
- ・基本方針ごとに観光協会の各委員会が窓口となり、市との協議の場を設けるなどの方式が考えられる。
- ・アドバイザーや専門家も招き、各カテゴリーについて皆で勉強しながら深めていくことも考えている。
- ・主な取組は、市の観光部局として、定山溪に関連した観光施策を市として位置づけて推進するために使われるものなのか。ここに書いてあるから、あとは協会が推進をよろしく、ということではないのか。

(事務局)

- ・ご認識の通り、予算要求するための後ろ盾となるものであり、定山溪の観光振興を推進していくためのものと考えていただきたい。
- ・組織体制として、札幌市も観光部局とそれ以外の部局で分けて記載し、国や北海道とも協力するという書き方が良い。

(事務局)

- ・現構想の推進体制図にも観光協会や旅館組合、札幌市が位置付けられているが、細分化されていなかった。これらを細分化していくことで関係性が見える化させていきたい。
- ・エリアマネジメント組織については、現段階において作ることを断言はできない。観光協会等と議論を進める中で必要という話になれば、検討を進めていきたい。
- ・現在の体制図に加え、外部の事業者等も含めて、官と民との連携に関することも追加していくことも必要かもしれない。

- ・観光協会の各委員会の強化も考えなければならない。

(事務局)

- ・第1回委員会では、洞爺湖温泉の観光協会では各部会が権限を持ってやっているというお話もあった。

- ・市としては、これまで以上に財源面や人材面で支援をしていくというお考えなのか。

(事務局)

- ・定山溪を含め札幌市では宿泊税の導入を検討しているが、定山溪に宿泊した方に「定山溪が良くなっている」と実感していただくことが導入することへの理解につながると思っている。
- ・そのためには、エリアマネジメントを推進していく機能を高めることが必要になり、そのような支援は行っていきたいと考えている。

- ・エリアマネジメント組織を検討していくことは現構想でも出ていたが、この10年の間に全く議論がなかった。しっかりと話し合う場を設けるとともに、方針の中に組み込んでほしい。

- ・観光協会がマネジメントしていくのか、別の組織が行うのかについては、地域間競争が激しくなる中で、もう少し具体的に検討を進めていくことが必要である。

- ・駐車場の充実について具体的な検討に入っていることはありがたい。一方で、「眺望点」に位置付けられている箇所には車があふれている状況である。拠点を設けて周遊させるという方式もあるが、利便性を考えると小規模な駐車場をいくつか整備するという形も検討できないか。

- ・美化活動については、この10年間で目覚ましく改善したという実感はない。資源委員会ですっかり議論するとともに、皆がいるところで大きな方向性について協議することが必要である。

(事務局)

- ・エリアマネジメント組織については、設立に向けたタイムスケジュール等も含めて検討していくことが必要だと感じている。

- ・駐車場については、基本方針4の「定山溪温泉街における駐車台数の拡充」の中に、「スポーツ公園駐車場や民間が所有する遊休地など既存敷地の活用・整備による実証実験の実施等」を位置づけている。

- ・赤岩の澗、舞鶴の瀨、紅葉橋、時雨橋等には駐車場がなく、路上駐車がひどい場所もある。

- ・近隣に民間事業者が管理している土地があるため、そこも含めて駐車場として活用できたら良い。

(事務局)

- ・そのような民間事業者所有の敷地の活用も含めて検討したい。

- ・景観については、現在の景観のガイドラインをベースに、具体的に行政が取り組むべきことを皆様と一緒に検討していくような勉強会等を進めていきたい。

- ・委員会だけに留まらずという点は重要である。全体での議論を適宜行いながら取組を進めていきたい。

- ・景観というよりも、ゴミ拾いや草刈り、除雪等のパブリックな場所の環境を美しくする日々の美化活動の仕組みについて位置付けていただきたい。

(事務局)

- ・札幌市だけでなく、様々な機関が所有している土地があるため、多様な関係者が連携しながら環境維持を進めていくことが大事になってくる。
- ・コンセプト(案)については方向性としては概ね理解している。ただ、世界の方々に来ていただく定山溪というなかで、「定番」がないことは課題である。
- ・景観づくりについては、「補助金を出すから」というような形式では限界がある。札幌市と観光協会がしっかりと協議して進めて行く必要がある。
- ・様々な場所を同時進行で実施していくのは難しい。重点エリアや重要計画を決め、明確なコンセプトの中で、一部に注力して進めていくという形にしなければ目に見えた成果が出てこないのではないか。
- ・そのためには、毎年話し合いの場を設けて進捗を確認し、次に取り組むことを決めていく必要がある。
- ・湯の町の中央線を和の雰囲気にするのは大賛成である。また、定山溪大橋にガラス張りのバルコニーがあっても良いかもしれない。
- ・同時進行ではなく、優先順位を決めて進めていくことが重要であり、そのためには、皆で共有できる絵が必要になる。
- ・成果指標については、目標数値を決めて進捗管理を一緒に進めていきたい。

(事務局)

- ・主な取組はかなりの数があり、すぐにできることとできないことが出てくる。優先的に実施する取組については、今後ご相談させていただきたい。
- ・基本方針3「戦略的なプロモーションの展開」の②「ターゲットに応じたプロモーション施策の立案」では、プロモーションに関する様々な取組を掲げているが、国・地域別、道民・市民別といった具体的な目標数値等を見える化して取り組んでいくことが大事であると考えている。
- ・取組項目の強弱については、我々と札幌市で認識を共有することが重要になる。ワクワク感も含めて皆が共有できるような構想にしていきたい。
- ・定山溪観光協会のこれまでの動き方ではついていけない部分もある。その中で、観光協会がどうしなければならないのかを考えていく必要がある、今まで以上に人を取り込んで、実際に動いてくれる人をつくっていかなければならない。地域の中で伝播させ、地域として力をつけていかなければならない。
- ・洞爺湖の観光協会の例はあるが、現在の各委員会のことを考えると難しい。結局、事務局が動いているだけとなっている組織体を何とかする必要があり、今動いている人が核となって輪を広げていかなければならない。
- ・黒川温泉では、若い人がアイデアを出して観光客向けのプロジェクトを実施している。
- ・定山溪でも、若い人や女性も参加してプロジェクトを立ち上げることができるような仕掛けをつくり、人材を育てていくような視点が大事になってくるのではないかな。

- ・行政はシステムや仕組みはつくれるが、「魂」の部分はつくれず、それをやると行政主導・行政依存になってしまう。
- ・魂は自分達でしかつけれない。今回の構想は非常に多くの取組が記載されているが、「これは是非やりたい」、「追加でこれをやりたい」というようなものを地域の皆様が選んでいくことができるような機能や組織体をつくっていただきたい。
- ・コンセプト(案)はマーケットイン的な発想に感じる。定山溪の魅力はそもそも何なのかという部分が見えてくるようなコンセプトになれば良い。
- ・若い人たちに「観光協会の仕事って良いな」と思ってもらえたり、宿泊施設の本来の業務以外にもまちづくりに取り組むことを目指して優秀な人材が入ってきたりするような形を目指していただきたい。
- ・ネイチャールミナリエの事例はとても良いと思う。二見吊橋など定山溪の大切な資源をブラッシュアップしたことにより、見ごたえのあるものになり、宣伝もしやすくなった。
- ・洞爺湖には湖、登別には地獄谷というわかりやすい資源がある。定山溪では地域の資源を可能な限りロングランで伝えることができるようなイベントが必要になる。
- ・雪灯路は素晴らしいイベントだと思うが、一週間ではツアーを組むことができない。
- ・インバウンド客を獲得していくときに、定山溪を競争力のある場所にするためには、SNS等で拡散される必要があり、それが最終的に FIT のマーケットになる。そのためには、きっかけとなる分かりやすいイベントが必要になる。
- ・資源をつくるだけではなく、それをどのように活用してお客様に来てもらうかといったところまでの一括した予算組みを検討していただきたい。

(事務局)

- ・宣伝するものが重要となる。地域の魅力づくりとマーケティングは二人三脚で取り組まなければならない。
- ・現在、中島公園でライトアップを実施している。今年からのイベントだが、市民の間でも評判は良い。ルミナリエでも、どうすれば宣伝しやすいものになるのかを考えながら、地域の資源である溪谷美を磨き上げて育てていくような議論ができれば良いと考えている。

以 上